

暑い夏は、
トマトでサッパリ。



08 冷やしトマトそうめん

社会福祉法人博由社管理栄養士監修レシピ

材料 (2人前)

- ・そうめん 2束
- ・めんつゆ (希釈タイプ) 適量
- ・トマト 2個
- ・オリーブオイル 少々
- ・大葉 4枚

作り方

1. そうめんを茹でて冷水でしめる。
2. トマトを角切り、大葉を千切りにする。
3. 器にそうめんを盛り、トマト・大葉をのせる。
4. めんつゆをかけ、オリーブオイルを少したらして完成。

冷やしトマトそうめんのこぼれ話

冷やしトマトそうめんは、定番のそうめんにトマトをのせただけの簡単アレンジです。トマトの酸味とうま味が、めんつゆとよく合うので人気になりました。最近はおリーブオイルを少しかけて、冷製パスタ風にする人も多いです。暑くて食欲がない日でも、見た目がさっぱりして食べやすい夏の定番アレンジです。

INFORMATION

広報誌「はくゆう」の表紙写真を募集します！
博由社で働く職員の皆さんはもちろん、利用者様、ご家族様、地域の皆様どなたでも応募頂けます。

詳しい応募方法はHP「広報」ページをご覧ください。
みなさまからのご応募お待ちしております。

応募詳細ページはコチラ⇒



RUBLISH

社会福祉法人 博由社

〒674-0051
明石市大久保町大窪2573-16
TEL: 078-934-9161
<https://hakuyusha.or.jp/>

AFTERWORD

みなさん、こんにちは。夏の日差しがまぶしく、青空が広がる季節になりましたね。私は、冷たい飲み物や旬の野菜を楽しみながら、夏ならではの時間を味わっています。さて、夏はお祭りや花火、旅行など楽しみが多い季節です。暑さで疲れやすい時期でもありますので、しっかり休みながら無理なく過ごしていきたいですね。今年の夏も、皆さんにとって笑顔あふれる思い出いっぱいの季節となりますように。

HP/SNS



法人HP



インスタグラム

社会福祉法人 博由社

NO.15
Summer2026

HAKUYU

はくゆう

特集
夏のインターンシップ
一歩踏み出せ！

Model: 白糸の滝
Photo: H.M



A I と社会福祉について

いきなり唐突ですが、ソフトバンクグループ（S B G）は2026年6月に時価総額でトヨタ自動車を抜き、日本で1位となりました。これは、同社が巨額出資する米O p e n A I（オープンA I）の上場予測等の好材料が重なったためと言われています。

今、人工知能（以下A I）は全世界を席卷しています。

私ども社会福祉の世界もA Iによってその働き方に変化が生じています。

A Iは膨大なデータを迅速に分析し、パターンや潜在的なリスクをエスカレートする前に発見できます。これにより、早期介入や資源配分の改善、そして最終的にはケア中の人々の成果改善につながる可能性があります。

オックスフォード大学の調査では、I T技術の発達により「10～20年後に49%の職業が消える」といった結果がでました。

既にA Iやロボットに代替が行われて事例は多々ありますが、私どもが携わっている仕事、ホスピタリティが必要な仕事は、今後もA Iに代替される可能性は低いようです。

前述しましたように、社会福祉の分野でも事務の効率化や見守りシステムなどのリスクの回避の部分などでは、A Iの活用は進んでいます。

しかしながら、「消えない職業51%」の中に博由社の仕事はあります。

今後も、「忠恕」の基本理念を大切に、`人の立場に立って考え、人の心を思いやり、人に尽くす、このことを着実に推進していきます。

障害のある人と高齢者の支援の質の向上は我々にとって永遠の課題です。引き続き積極的に取り組んで参ります。

最後に、今年も暑い夏がやってきました。暑さに負けず、A Iにも負けず、皆様におかれましては、体調管理に十分ご留意いただき、素晴らしい夏にしてください。

社会福祉法人 博 由 社
理事長 柏 由 紀 夫

INDEX

HAKUYU



- | | |
|-----------------|------------|
| #01 ごあいさつ | #07 活動NEWS |
| #02 夏号特集 | #09 ○○が教える |
| #03 職員インタビュー | #10 施設探訪 |
| #05 PHOTO DIARY | # # 春のレシピ |

#01 ごあいさつ

今年も、 熱くなれる夏がきた！

夏のインターンシップ

一歩踏み出せば、未来が近づく。

インターンシップは、仕事や職場の魅力を実際に体験できる貴重な機会です。
この夏、新たな学びと出会いを見つけてみませんか。

参加者の声

- | | |
|--|---|
| <p>学部：人文学科
車いすがこんなにたくさん種類があるなんて知らなかった。</p> | <p>学部：社会福祉学科
駅までの送迎や昼食も用意して下さり、ありがとうございました。</p> |
| <p>学部：生活環境学科
コミュニケーションが苦手だったけど、利用者さんが話しかけてくれて楽しく体験できた。</p> | <p>学部：心理学科
職員の引継ぎ対応など、通常見ることができない業務を見られてよかった。</p> |

参加特典

- | | | |
|-------------|---------------|----------------|
| <p>社食体験</p> | <p>駅からの送迎</p> | <p>イベントの参加</p> |
|-------------|---------------|----------------|

エントリーはこちら



#02 夏号特集

新卒としての第一歩、 正規職員としての新しい一歩



灘の浜のデイサービスでは、立場や経験の異なる職員が日々の業務の中でそれぞれの“はじまり”を積み重ねています。今回は、新卒として現場に入った職員と、長年パート職員として勤務した後に正規職員へと移行した職員の2名に、それぞれの経験と現在の思いについて話を聞きました。

それぞれの「はじまり」

堀 本日はありがとうございます。まずは簡単に自己紹介をお願いします。

中山 今年の4月に新卒で入職しました。高校で介護を学び、実際の現場で経験を積みたいと思い入職しました。

大西 私は2014年11月に入職しました。当初はパート職員として週3～4日の勤務からスタートし、今年の4月から正規職員として勤務しています。

堀 お二人とも、それぞれの形で“新しいスタートの時期”ですね。立場は違いますが、どちらも節目のタイミングということですね。

介護職を選んだ背景

堀 まず、介護の仕事を選んだきっかけから教えてください。

大西 親が47歳の時に脳梗塞で倒れ、右半身麻痺と言語障害が残りました。そのとき介護が必要になり、関わることになったのがきっかけです。

その中で関わったケアマネジャーの方がとても親身で、困っていることを一つずつ丁寧に聞いてくださったり、分かりやすく助言をくださったりしました。その関わりがとても印象に残っていて、「自分もこういう支え方がしたい」と思うようになりました。

堀 なるほど…実際の支援を受けた経験が、そのまま職業選択につながっているんですね。

大西 はい。当時は別の仕事をしていて、関わることのない業界だと思っていましたが、その出来事をきっかけに気持ちが大きく変わりました。

中山 私は祖父母の介護を母が自宅でしているのを見ていました。その様子を見て、介護という仕事に興味を持ちました。高校で介護の授業を選択できたこともあり、そのまま学びながら、現場で働きたいという気持ちが強くなりました。

堀 なるほど、どちらも“身近な介護の経験”が入口になっているんですね。

現場での最初の業務

堀 実際に働き始めたとき、最初に担当した業務は何でしたか？

大西 最初はお茶出しでした。利用者様に温かいお茶か冷たいお茶かを確認して提供する業務です。その中で自然と利用者様の名前を覚えていきました。当時は昼食の内容確認なども同時に行っていて、今よりも確認項目が多く、慣れるまでは少し大変だった記憶があります。

堀 なるほど。単純な作業というより、利用者様を知る入口でもあったわけですね。

大西 そうですね。お茶出しを通じて会話が生まれていく感じでした。

中山 私もお茶の提供と入浴の介助から始まりました。特に難しかったのは、入浴介助の際の声掛けのタイミングです。利用者様のペースがあるので、「いつ声をかけるのが良いか」が分からず、最初は戸惑うこともありました。

堀 そこは経験しないと分からない部分ですね。

中山 はい。名前を覚えることも最初は難しかったですが、関わるうちに少しずつ覚えられるようになりました。

日々の中で感じること

堀 介護の世界で働いている中で、感じていることはありますか？

大西 私は正規職員になってから事務的な業務も増え、パソコン作業や書類を扱う時間も多くなりました。でも、利用者様と直接関わる時間は大切にしたいと思っています。記録や書類だけでは分からないことも多くて、実際にお話する中で気づけることがあると感じています。

堀 確かに、現場にいるからこそ見えるものですね。

中山 私は利用者様とお話する時間が楽しいですし、食後の時間やカラオケの時間など、自然と会話が生まれる場面が多く、その中で少しずつ関係ができていくのを感じています。業務の中では、最初は名前を覚えることに必死でしたが、少しずつ周りの状況も見えるようになってきました。

大西 中山さんは、本当に周りの様子をよく見ているんです。送迎票の名前の確認や、利用者様の席の間違いなど、本来であれば見落としてしまいそうな細かな部分にも気づいて、「これ違うと思います」とその場で声をあげてくれます。そういうところは現場として本当に助かってますし、安心感があります。

堀 なるほど、気づくだけでなく、その場でしっかり伝えてくれるのも大切ですね。



職場環境と支え合い

堀 職場の雰囲気はいかがですか？

中山 分からないことをすぐに聞ける環境なので、安心して働けています。

大西 新人の方には、ただやり方を伝えるのではなく、「なぜそうするのか」を説明するようにしています。理由を理解してもらうことで、次につながると感じています。

堀 なるほど、そこがあると安心感も違いますね。

それぞれの今後の目標

堀 今後どのような職員を目指していますか？

中山 利用者様の小さな変化にも気づける職員になりたいです。そのために、まずは業務をしっかり覚えていきたいです。

大西 利用者様や職員から信頼される存在になりたいです。正規職員として責任も増えたので、その分しっかり役割を果たしていきたいと思っています。

これから入職する方へ

堀 最後に、これから入職を考えている方へ一言お願いします。

中山 優しい職員が多いので、安心して働ける環境だと思います。

大西 分からないことはそのままにせず、何でも聞いてもらえればしっかりサポートできる環境です。

それぞれが異なる立場で“第一歩”を踏み出し、その歩みの中で少しずつ経験を積み重ねている様子がうかがえるインタビューとなりました。

特別養護老人ホーム ハッピータウンKOBE
／灘の浜高齢者介護支援センター
〒657-0855 神戸市灘区摩耶海岸通2-3-9
TEL：078-803-3609 FAX：078-803-3629



HAKUYUSHA PHOTODIARY

博由社の日常をお届け。



博由園

喫茶タイム ☕🍰

プリンにクリームをトッピングして、ちょっぴり特別なおやつ時間。
甘いひとときをみんなで楽しみました 😊



博由園

ドライブ外出！
たくさん並んだケーキを前に、表情は真剣そのもの 🍰



ハッピータウンKOBÉ

手作り屋台が登場し、気分はうどん屋さん 😊
皆さんで美味しいうどんを味わい、笑顔あふれる時間となりました 🎵



つつじ園

利用者さんと一緒にフルーツポンチを作りました 🍓🍇
好きなフルーツを選んで盛り付け、それぞれ彩り豊かな一品が完成 ✨
楽しくおいしい時間を過ごしました 😊



博由園

BBQを楽しみました 🍖🔥
おいしい料理と楽しい会話で、笑顔いっぱいの時間となりました。
みなさんで夏のひとときを満喫しました 😊



透鹿園

菖蒲を手し、今年も菖蒲湯へ 🔥
無病息災を願って、季節の風習を楽しみます。
みなさんも健やかな一年になりますように。



つつじ園
金魚すくい 🐟

カラフルな金魚をたくさんすくって、
笑顔いっぱいのひとときでした ♪
夏らしい雰囲気を楽しみました 🌻



ハピネスさつま

みんなで清掃活動！
たくさんの落ち葉を掃いて集めて
とっても綺麗になりました。 🍂🌟



灘の浜

デイサービスでの、お誕生日会 😊
「こんなにしてもらえると思ってなかった 😊」と、
喜んでいただけました ✨



ハピネスさつま

みとろの丘へお出かけしました 🌿
自然に囲まれた景色を楽しみながら、ゆったりとした時間を過ごしました。
心地よい風とともに、素敵な思い出がまたひとつ増えました 😊



ハッピータウンKOBÉ

職員で近隣の清掃活動を実施 😊
これから地域の皆さまとのつながりを大切にしていきます 🍀

ACTIVITY NEWS 7

笑顔いっぱい！ ハピネスさつまの七タイイベント



ハピネスさつまでは、七タイイベントを開催しました。会場には、射的や魚釣り、輪投げなどの楽しいコーナーが並び、利用者の皆さんに参加していただきました。魚釣りでは、色とりどりの魚やタコなどを次々と釣り上げ、「釣れた！」「見て見て！」と笑顔があふれていました。釣り上げた魚たちは、一つひとつかわいらしくラッピングされ、お土産として持ち帰っていただきました。また、輪投げでは狙いを定めて真剣な表情を見せる場面もあり、成功すると周りから拍手や歓声が上がるなど、大いに盛り上がりました。イベントの最後は、恒例となっているシャボン玉遊びを楽しみました。「私も！」「私も！」と次々に参加され、たくさんのシャボン玉を追いかける利用者の皆さんの笑顔がとても印象的でした。笑顔いっぱいの七タイイベントとなり、楽しいひとときを過ごすことができました。

「とったぞー！」 晴天の下で玉ねぎ大収穫！



つつじ園で、利用者の皆さんと一緒に玉ねぎほりを楽しみました。畑に到着すると、「どこにあるかな？」「大きな玉ねぎを見つけないね」と、皆さん期待に胸を膨らませていました。土の中にしっかり根を張った玉ねぎを力いっぱい引き抜くと、「採れた！」「見て見て、大きいよ！」とあちらこちらで歓声が上がり、笑顔が広がっていました。大きな玉ねぎや形の良い玉ねぎが採れるたびに、利用者さん同士で見せ合ったり、職員に嬉しそうに報告してくださったりと、畑にぎやかな雰囲気に包まれていました。普段なかなか触れる機会の少ない土の感触や、収穫する喜びを存分に味わうことができました。収穫した玉ねぎを手で「とったぞー！」のポーズで記念撮影。皆さんの達成感あふれる表情と、青空の下で輝く笑顔がとても印象的でした。たくさんの玉ねぎとともに、楽しい思い出もたくさん収穫できた一日となりました。

フレッシュな仲間と 新任研修を実施しました。



午前中は、法人の基本理念や社会福祉の基本的な考え方について学ぶとともに、法人概要や福利厚生など、働く上での基礎知識について理解を深めました。昼食は交流会を兼ねて実施し、美味しい食事を囲みながら職員同士の交流を深める時間となりました。和やかな雰囲気の中で会話が弾み、緊張もほぐれ、午後の研修に向けて良いリフレッシュの機会となりました。午後からは外部講師をお招きし、「コミュニケーション」をテーマとした研修を行いました。ゲーム形式のグループワークを取り入れ、楽しみながらも集中して取り組む中で、相手の考えを受け止めることや、自分の思いを伝えることの大切さを体験的に学びました。昼食後ということもあり、リラックスした雰囲気の中での学びとなりましたが、参加者同士が協力しながら活発に取り組む姿が見られました。今回の研修を通して、新任職員同士の交流が深まり、今後の業務に向けた基礎づくりにつながる有意義な機会となりました。今後も博由社では、実践的で学びやすい研修を通じて、職員の成長を支援していきます。

業務効率化に向けた 5S活動を推進

透鹿園では、業務効率の向上と働きやすい職場づくりを目指し、5S活動の一環として書類やPC周りの整理整頓に取り組みました。日々の業務では、利用者支援に関する書類や各種記録、会議資料など、多くの書類を扱います。定期的に整理整頓を行っていても、日々の業務の中で新たな資料が増えたり、一時的に机へ置いたままになったりすることで、時間の経過とともに再び乱雑になってしまうことが課題となっていました。そのため、必要な書類を探すのに時間がかかったり、複数のファイルを確認しなければならなかったりする場面も見られました。今回の活動では、まず「必要なもの」と「不要なもの」を改めて見直し、使用頻度の低い書類は整理・処分を行いました。また、これまで細かく分けていたファイルについても整理方法を見直し、関連する書類は一つにまとめるなど、必要な情報を誰でもすぐに見つけられるよう工夫しました。さらに、紙資料だけでなくペーパーレス化も併せて進めることで、書類を増やさない仕組みづくりにも取り組んでいます。整理整頓を進めたことで、机上や書庫がすっきりしただけでなく、必要な書類やデータをスムーズに取り出せるようになり、業務の効率化にもつながっています。一方で、整理した状態を維持することが今後の課題でもあります。透鹿園では、今回の活動をきっかけに、整理・整頓だけで終わらせるのではなく、清掃についても定期的に実施することも職員間で話し合いました。5S活動を継続しながら、職員一人ひとりが気持ちよく働ける環境づくりと、より質の高い利用者支援につながる職場づくりを目指していきます。



左：書類保管（改善前）



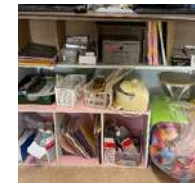
右：書類保管（改善後）



左：PC周り（改善前）



右：PC周り（改善後）



左：備品保管（改善前）



右：備品保管（改善後）

役職者研修 アサーティブ コミュニケーション

プライマリサポート甲斐企画の甲斐様をお招きして役職者研修を実施し、相手を尊重しながら自分の考えを適切に伝える「アサーティブコミュニケーション」について学びました。研修を通して、一方的に伝えるのではなく、相手の立場や意見にも配慮しながら対話することが、信頼関係の構築や円滑な業務につながることを改めて実感しました。今回の学びを日々のコミュニケーションやチームマネジメントに活かし、より良い職場づくりにつなげていきたいと思っています。

健康への一步をみんなで ウォーキングイベントに参加しました

法人事務局職員で健康づくりイベントに参加しました。健康に関する研修を受講するとともに、歩数を競うウォーキングイベントにも挑戦し、楽しみながら健康について考え、日々の運動習慣を見直す良い機会となりました。期間中は、職員同士で声を掛け合いながら歩数を伸ばし、互いに励まし合って取り組んだ結果、「Oneチーム賞」で14位を獲得することができました。また、景品もいただき、職員一同喜びを分かち合いました。今回の活動を通して、健康づくりは一人で続けるよりも、仲間と一緒に取り組むことで楽しみながら継続できることを改めて実感しました。今後も、職員一人ひとりが健康を意識し、法人全体で健康づくりに取り組めるよう、このような活動への参加を積極的に進めていきたいと考えています。



博由社では、職員の皆さんがより快適に働き、日々の生活も豊かに過ごせるよう、福利厚生の充実に取り組んでいます。その一環として、今号では「ミラブル」シャワーヘッドのご案内を行いました。ミラブルは、やさしい肌あたりと高い洗浄力が特長で、毎日のバスタイムを心地よいリフレッシュの時間へと変えてくれるアイテムです。ご家庭でのリラックスはもちろん、健康や美容への意識を高めるきっかけとしても注目されています。今回のご案内では、職員の皆さんがお得に購入できる機会となりました。今後も博由社では、日常に役立つ福利厚生情報を随時お届けしてまいります。

私たちが1日どんな仕事をしているか。

朝礼 09:00

その日の訪問予定や利用者さんの状況を職員同士で共有します。
申し送りを行い、1日の動きを確認してから業務をスタートします。



10:00

訪問

利用者さんのご自宅や事業所を訪問し、生活の様子や困りごとを伺います。
必要に応じて担当者会議や各種手続き、サービス等利用計画の説明・同意も行います。

休憩 12:00



13:00

事務作業

訪問内容を記録し、サービス等利用計画の作成や受給者証の入力を行います。
事業所や市役所など関係機関との連絡・調整も大切な仕事です。

訪問・担当者会議

午後にも利用者さん宅や事業所を訪問します。
担当者会議では関係機関と情報を共有し、一人ひとりに合った支援について話し合います。

15:00



16:00

事務作業・翌日の準備

訪問記録や計画書の作成、各種届出を行います。
ご家族や関係機関へ連絡を行い、翌日の予定を確認します。

業務終了 18:00

今日も1日お疲れ様でした！

INFORMATION

障害者支援施設 ハピネスさつま
〒675-0301 加古川市志方町大澤 847-35
TEL: 079-453-1177 FAX: 079-453-1188

Facility Exploration Report

利用者さんも職員も楽しんだ！

ボランティアさん

REPORT

01

ドッグセラピー



とっても癒されました♡

セラピードッグとのふれあいを通して、自然と笑顔がこぼれました。
優しく寄り添う姿に癒され、心もほっと温まる素敵な時間となりました。

REPORT

02

太鼓演奏



すごい迫力！元気が出たよ！

力強い太鼓の音色が会場いっぱいに響き渡り、利用者さんも手拍子をしたり、リズムに合わせて体を動かしたりと楽しい時間を過ごしました。迫力ある演奏に、たくさんの笑顔があふれました。

REPORT

03

猿回し



お猿さんの竹馬すごい！

息の合った見事な演技に、会場からは大きな拍手と笑い声があふれました。利用者さんもかわいらしい姿に笑顔になり、楽しいひとときを過ごしました。

REPORT

04

歌唱



歌を歌うって楽しいね♪

息の合った素敵なハーモニーが会場に響き、利用者さんも音楽に耳を傾けながら楽しまれていました。心癒される、思い出に残るひとときとなりました。

特別養護老人ホーム 透鹿園
〒651-2263 神戸市西区平野町常本309-5
TEL: 078-961-2335 FAX: 078-961-3853

ボランティアの様子は
Instagramに掲載中！

